平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名　ライオン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4912　URL　http://www.lion.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 濱　逸夫
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 鎌尾　義明　TEL 03-3621-6211
四半期報告書提出予定日　平成25年8月13日　配当支払開始予定日　平成25年9月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有 (投資家、アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	166,041	3.9	2,872	27.7	3,911	38.1	2,102	81.1
24年12月期第2四半期	159,874	5.5	2,250	△32.3	2,831	△29.5	1,161	―

(注)包括利益　25年12月期第2四半期　7,005百万円　(93.3%)　24年12月期第2四半期　3,624百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	7.83	7.82
24年12月期第2四半期	4.32	4.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	264,919	119,400	43.0
24年12月期	257,595	114,163	42.4

(参考) 自己資本　25年12月期第2四半期　114,045百万円　24年12月期　109,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年12月期	―	5.00			
25年12月期(予想)			―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	352,000	5.0	10,000	38.6	11,000	28.4	6,000	41.6	22.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
連結業績予想の修正については、本日(平成25年8月2日)公表の「平成25年12月期　第2四半期累計期間業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	299,115,346 株	24年12月期	299,115,346 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	30,745,993 株	24年12月期	30,713,613 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	268,384,913 株	24年12月期2Q	268,609,488 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】p.7「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報……6
（３）連結業績予想に関する定性的情報……7

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項……8
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動……8
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用……8
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示……8

３．四半期連結財務諸表……9
（１）四半期連結貸借対照表……9
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 11
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書…… 13
（４）継続企業の前提に関する注記…… 15
（５）セグメント情報等…… 15
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記…… 15

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期（平成25年１月１日～６月30日）のわが国経済は、消費者物価に下げ止まりの兆しがみられる中、個人消費が持ち直すとともに、企業収益が改善するなど、回復基調にありました。

当社グループが主に事業を展開する国内一般用消費財業界は、市場の販売単価に下げ止まりの傾向がみられましたが、依然として店頭での激しい販売競争が続き、厳しい事業環境にありました。

このような環境の中、当社グループは、中期経営計画「Ｖ－１計画（Ｖｉｓｉｏｎ２０２０　Ｐａｒｔ－１）」の４つの戦略テーマ「国内事業の質的成長」、「海外事業の量的成長」、「新しいビジネス価値の開発」、「組織学習能力の向上」にもとづく施策を推進しました。

国内事業では、歯刷子、制汗剤、柔軟剤、点眼剤等の新製品をはじめとする高付加価値製品の育成に取り組むとともに、販売促進費の効率化等を進め、収益性の改善を図りました。また、通信販売商品においては、機能性食品等の広告宣伝を増強し、事業規模の拡大を図るとともに、女性用エイジングヘアケア分野の新製品を発売しました。

海外事業では、タイを中心にオーラルケア、洗濯用洗剤等の主要分野において重点ブランドの育成を進めました。

以上の結果、当第２四半期の連結業績は、売上高１，６６０億４千１百万円（前年同期比３．９％増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比は０．５％減）、営業利益２８億７千２百万円（同２７．７％増）、経常利益３９億１千１百万円（同３８．１％増）、四半期純利益２１億２百万円（同８１．１％増）となりました。

【連結業績の概況】　（単位：百万円）

	当第２四半期	売上比	前第２四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	166,041		159,874		6,167	3.9%
営業利益	2,872	1.7%	2,250	1.4%	622	27.7%
経常利益	3,911	2.4%	2,831	1.8%	1,079	38.1%
四半期純利益	2,102	1.3%	1,161	0.7%	941	81.1%

【セグメント別業績】　（単位：百万円）

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	当第２四半期	前第２四半期	増減額	増減率	当第２四半期	前第２四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	124,277	126,811	△2,534	△2.0%	1,323	930	393	42.3%
産業用品事業	24,058	24,243	△185	△0.8%	256	47	208	433.8%
海外事業	37,747	28,310	9,436	33.3%	836	876	△39	△4.5%
その他	12,896	14,386	△1,489	△10.4%	327	483	△155	△32.3%
小計	198,978	193,751	5,227	2.7%	2,743	2,337	406	17.4%
調整額	△32,937	△33,877	940	―	129	△87	216	―
合計	166,041	159,874	6,167	3.9%	2,872	2,250	622	27.7%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

＜一般用消費財事業＞

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」に分かれており、全体の売上高は、前年同期比２．０％の減少となりました。セグメント利益は、高付加価値製品の育成や販売促進費の効率化等により競争費用が減少し、前年同期比４２．３％の増加となりました。

（単位：百万円）

	当第２四半期	売上比	前第２四半期	売上比	増減額	増減率
売　上　高	124,277		126,811		△2,534	△2.0%
セグメント利益	1,323	1.1%	930	0.7%	393	42.3%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第２四半期では10,659百万円、前第２四半期では10,923百万円となっております。

［売上高の分野別状況］　（単位：百万円）

	当第２四半期	前第２四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	23,736	24,981	△1,244	△5.0%
ビューティケア分野	9,939	10,977	△1,038	△9.5%
ファブリックケア分野	37,475	36,881	593	1.6%
リビングケア分野	9,943	10,154	△211	△2.1%
薬品分野	16,885	18,286	△1,400	△7.7%
その他の分野	26,295	25,529	765	3.0%

（オーラルケア分野）

歯磨は、昨年秋に発売した「デンターシステマ しみるケア ハミガキ」がお客様のご好評を得るなど主力の「デンターシステマ」が好調に推移しましたが、「デンタークリアMAX（マックス）」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

歯刷子は、極薄ヘッドと極細ネックで奥歯の奥までブラシが届いてしっかり磨ける新製品「クリニカアドバンテージハブラシ」がお客様のご好評を得ましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

口中剤は、「デンターシステマ」のデンタルリンスが堅調に推移しましたが、「クリニカ」の デンタルリンスが伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

（ビューティケア分野）

ハンドソープは、改良発売した「キレイキレイ 薬用泡ハンドソープ」が順調に推移しましたが、液体タイプが伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

制汗剤は、独自のマイクロパウダー配合でサラサラ感が持続する、ミスト状で出るウォータータイプの新製品「Ban（バン）シャワーデオドラント」がお客様のご好評を得ましたが、主力のパウダースプレーが伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

（ファブリックケア分野）

洗濯用洗剤は、洗うたび衣類の抗菌力が高まる超コンパクト洗濯用液体洗剤「トップ ＨＹＧＩＡ（ハイジア）」がお客様のご好評を得ましたが、粉末洗剤が市場規模縮小の影響を受け、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

柔軟剤は、ベリー系スイーツの甘い香りの新製品“アニー”を加えた「香りとデオドラントのソフランアロマリッチ」シリーズが好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

（リビングケア分野）

台所用洗剤は、「CHARMY（チャーミー） 泡のチカラ」シリーズが伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルック おふろの防カビくん煙剤」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期をかなり上回りました。

調理関連品は、「リード ヘルシークッキング ペーパー」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

（薬品分野）

解熱鎮痛薬は、主力の「バファリンＡ」が競争激化の影響を受け、全体の売上は前年同期を下回りました。

点眼剤は、年齢や目の酷使によるつらい眼疲労・目やになどによる目のかすみに優れた効果を発揮する新製品「スマイル４０ プレミアム」、清涼感をおさえたマイルドなさし心地の新製品「スマイル４０ＥＸ（イーエックス） ゴールドマイルド」がお客様のご好評を得て、全体の売上は堅調に推移しました。

胃腸薬は、空腹時等の胃痛、胃もたれ、胸やけに優れた効き目を発揮する「スクラート胃腸薬」シリーズがお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

栄養ドリンク剤は、「グロンサン」、「新グロモント」が市場規模縮小の影響を受け、全体の売上は前年同期を下回りました。

（その他の分野）

通信販売商品は、機能性食品等で主力の「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。また、女性のふんわり髪をサポートするエイジングヘアケアシリーズ「Fleuria（フルリア）」を新発売しました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ペットキレイ ニオイをとる砂」が堅調に推移しましたが、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

＜産業用品事業＞

当事業では、油脂活性剤、導電性カーボン、業務用洗浄剤等を取り扱っており、全体の売上高は、前年同期比０．８％の減少となりました。セグメント利益は、収益性の高い製品が伸長したことなどにより、前年同期比４３３．８％の増加となりました。

（単位：百万円）

	当第２四半期	売上比	前第２四半期	売上比	増減額	増減率
売　上　高	24,058		24,243		△185	△0.8%
セグメント利益	256	1.1%	47	0.2%	208	433.8%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第２四半期では9,211百万円、前第２四半期では9,441百万円となっております。

油脂活性剤は、洗剤やシャンプー等の原料が好調に推移しましたが、その他の用途が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

導電性カーボンは、海外向けの電子部品用途等が順調に推移し、全体の売上は前年同期をかなり上回りました。

業務用洗浄剤は、ハンドソープ、厨房向け消毒用アルコールが好調に推移し、全体の売上は前年同期をかなり上回りました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、韓国、中国等において事業を展開しており、全体の売上高は、前年同期比３３．３％の増加（為替変動の影響を除いた実質前年同期比は７．８％の増加）となりました。セグメント利益は、市場地位向上に向けて競争費用を増加させたため前年同期比４．５％の減少となりました。

（単位：百万円）

	当第２四半期	売上比	前第２四半期	売上比	増減額	増減率
売　上　高	37,747		28,310		9,436	33.3%
セグメント利益	836	2.2%	876	3.1%	△39	△4.5%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第２四半期では1,906百万円、前第２四半期では1,519百万円となっております。

（主要国の状況）

タイでは、「システマ」歯刷子が好調に推移するとともに、洗濯用洗剤「パオ」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回り、円貨換算でも大幅に上回りました。

韓国では、ハンドソープ「キレイキレイ」、洗濯用洗剤「液体ビート」シリーズが好調に推移し、全体の売上は前年同期比微増となり、円貨換算では大幅に上回りました。

中国では、「システマ」歯刷子が好調に推移しましたが、携帯用歯磨セット等の輸出が減少し、全体の売上は前年同期を下回りました。なお、為替変動の影響を受け円貨換算では大幅に上回りました。

＜その他＞

（単位：百万円）

	当第２四半期	売上比	前第２四半期	売上比	増減額	増減率
売　上　高	12,896		14,386		△1,489	△10.4%
セグメント利益	327	2.5%	483	3.4%	△155	△32.3%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第２四半期では11,159百万円、前第２四半期では11,993百万円となっております。

その他では、建設請負事業が伸びなやみ、全体の売上高は、１２８億９千６百万円（前年同期比１０．４％減)、セグメント利益は、３億２千７百万円（前年同期比３２．３％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①当四半期における資産、負債および純資産の状況

（連結財政状態）

	当第２四半期連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	264,919	257,595	7,323
純資産（百万円）	119,400	114,163	5,236
自己資本比率※1（%）	43.0	42.4	0.6

※1： 自己資本比率は、(純資産－新株予約権－少数株主持分）／総資産で計算しています。

総資産は、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末と比較して７３億２千３百万円増加し、２,６４９億１千９百万円となりました。純資産は、５２億３千６百万円増加し、１,１９４億円となり、自己資本比率は４３．０％となりました。

②当四半期におけるキャッシュ・フローの状況

（連結キャッシュ・フロー）　（単位：百万円）

	当第２四半期	前第２四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,226	5,686	4,540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,884	△5,153	△4,730
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,424	△2,115	691
換算差額	463	62	400
増減額	△618	△1,519	901
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,295	34,120	6,174

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等により、１０２億２千６百万円の資金の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、９８億８千４百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払による支出等により、１４億２千４百万円の資金の減少となりました。

以上の結果、当第２四半期の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ６億１千８百万円減少し、４０２億９千５百万円となりました。また、前第２四半期末に比べて６１億７千４百万円増加しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は、平成 25 年８月２日発表のとおり、最近の為替動向をふまえ、当初予想（平成 25 年２月 12 日発表）から売上高を変更しております。詳細につきましては、発表資料「平成 25 年 12 月期 第２四半期累計期間業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

わが国経済は、引き続き個人消費や企業収益等の改善が見込まれる一方、新興国の景気減速や欧州債務問題等の世界経済の動向が懸念される中、先行き不透明な状況が続くものと想定されます。

当社グループが主に事業を展開する国内一般用消費財業界では、原材料価格の上昇が見込まれることに加え、店頭における激しい販売競争が続くものと予想されますが、引き続き重点ブランドの育成に取り組むとともに、トータルコストダウンならびに競争費用の効率化を進め、収益性の向上を目指してまいります。

（当期業績予想値算出の前提条件）

主要な為替レートは、９５円／米ドル、３．２円／バーツとしています。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,149	26,010
受取手形及び売掛金	51,218	50,708
有価証券	16,358	16,322
商品及び製品	20,383	21,444
仕掛品	3,496	3,037
原材料及び貯蔵品	7,954	7,358
その他	5,527	5,800
貸倒引当金	△41	△38
流動資産合計	131,047	130,643
固定資産		
有形固定資産	61,955	66,473
無形固定資産		
商標権	15,301	13,436
その他	2,453	2,218
無形固定資産合計	17,754	15,654
投資その他の資産		
投資有価証券	28,564	33,077
その他	18,312	19,114
貸倒引当金	△39	△45
投資その他の資産合計	46,837	52,146
固定資産合計	126,547	134,275
資産合計	257,595	264,919
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,530	44,204
短期借入金	5,943	7,807
1年内返済予定の長期借入金	2,416	2,416
未払金及び未払費用	39,650	37,468
未払法人税等	1,532	1,223
賞与引当金	1,928	652
返品調整引当金	664	659
販売促進引当金	408	737
役員賞与引当金	147	101
その他	2,920	2,669
流動負債合計	96,142	97,941
固定負債		
長期借入金	22,670	21,462
退職給付引当金	19,231	19,265
役員退職慰労引当金	331	374
資産除去債務	324	338
その他	4,731	6,136
固定負債合計	47,288	47,577
負債合計	143,431	145,518

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	31,499	31,499
利益剰余金	57,996	58,757
自己株式	△16,656	△16,673
株主資本合計	107,273	108,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,688	5,967
繰延ヘッジ損益	6	△13
為替換算調整勘定	△1,708	74
その他の包括利益累計額合計	1,987	6,028
新株予約権	129	160
少数株主持分	4,772	5,193
純資産合計	114,163	119,400
負債純資産合計	257,595	264,919

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	159,874	166,041
売上原価	69,356	72,670
売上総利益	90,517	93,371
販売費及び一般管理費	88,266	90,498
営業利益	2,250	2,872
営業外収益		
受取利息	71	107
受取配当金	308	371
持分法による投資利益	314	452
受取ロイヤリティー	101	126
為替差益	43	151
その他	190	253
営業外収益合計	1,029	1,463
営業外費用		
支払利息	356	342
その他	91	82
営業外費用合計	448	425
経常利益	2,831	3,911
特別利益		
投資有価証券売却益	－	451
固定資産処分益	－	40
特別利益合計	－	492
特別損失		
固定資産処分損	138	224
減損損失	71	53
特別損失合計	210	277
税金等調整前四半期純利益	2,621	4,125
法人税、住民税及び事業税	835	942
法人税等調整額	323	680
法人税等合計	1,159	1,622
少数株主損益調整前四半期純利益	1,461	2,503
少数株主利益	300	400
四半期純利益	1,161	2,102

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,461	2,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,930	2,243
繰延ヘッジ損益	5	△19
為替換算調整勘定	223	2,003
持分法適用会社に対する持分相当額	4	274
その他の包括利益合計	2,163	4,501
四半期包括利益	3,624	7,005
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,256	6,144
少数株主に係る四半期包括利益	368	861

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,621	4,125
減価償却費	5,675	5,414
減損損失	71	53
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△420	△633
受取利息及び受取配当金	△380	△479
支払利息	356	342
固定資産処分損益（△は益）	138	183
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△451
持分法による投資損益（△は益）	△314	△452
売上債権の増減額（△は増加）	4,398	1,818
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,940	619
仕入債務の増減額（△は減少）	△715	3,061
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	△833	△1,460
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△22	258
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△1,304	△736
その他	△1,289	△883
小計	6,042	10,781
利息及び配当金の受取額	733	716
利息の支払額	△331	△293
法人税等の支払額	△758	△977
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,686	10,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△618	△188
有形固定資産の取得による支出	△4,007	△9,186
有形固定資産の売却による収入	58	41
無形固定資産の取得による支出	△523	△71
投資有価証券の取得による支出	△52	△795
投資有価証券の売却による収入	0	515
貸付けによる支出	－	△163
貸付金の回収による収入	7	1
その他	△18	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,153	△9,884

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,244	10,038
短期借入金の返済による支出	△7,817	△8,515
長期借入金の返済による支出	△1,208	△1,208
自己株式の取得による支出	△10	△17
自己株式の処分による収入	2	0
配当金の支払額	△1,614	△1,347
少数株主への配当金の支払額	△181	△322
連結子会社設立に伴う少数株主からの払込による収入	545	－
その他	△76	△52
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,115	△1,424
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	463
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,519	△618
現金及び現金同等物の期首残高	35,640	40,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,120	40,295

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成 24 年１月１日　至　平成 24 年６月 30 日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	一般用消費財事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	115,888	14,802	26,791	2,392	159,874	―	159,874
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高(注)1	10,923	9,441	1,519	11,993	33,877	△33,877	―
計	126,811	24,243	28,310	14,386	193,751	△33,877	159,874
セグメント利益	930	47	876	483	2,337	△87	2,250

（注）1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△87 百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成 25 年１月１日　至　平成 25 年６月 30 日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	一般用消費財事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	113,617	14,846	35,841	1,736	166,041	―	166,041
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高(注)1	10,659	9,211	1,906	11,159	32,937	△32,937	―
計	124,277	24,058	37,747	12,896	198,978	△32,937	166,041
セグメント利益	1,323	256	836	327	2,743	129	2,872

（注）1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 129 百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。